

1. ルター 2. クビライ・ハン 3. ナポレオン 4. ワシントン

1. 宗教改革 — イエズス会 2. ルネサンス — 十字軍 3. ルネサンス — イエズス会 4. 宗教改革 — 十字軍

1. 武家諸法度 2. 分国法 3. 御成敗式目 4. 公事方御定書

1. キリシタン大名 2. 戦国大名 3. 寄親 4. 守護大名

1. 御成敗式目 2. 武家諸法度 3. 分国法（家法） 4. 公事方御定書

1. 家臣に領地の経営を完全に任せることで、大名が外交や文化活動に専念するため	2. 家臣に独自の関所を設置させることで、商工業者から税を徴収しやすくするため	3. 家臣を農村から切り離して監視下に置き、大名の支配力と軍事動員力を高めるため	4. 家臣を海外貿易の拠点に近い沿岸部に集め、輸入品を独占的に管理させるため
---	---	--	--

1. 種子島に漂着したポルトガル人によって、1543年に伝えられた。	2. 日明貿易の進展に伴い、日本の商人が中国から直接買い付けて持ち帰った。	3. キリスト教の布教を目的としたスペイン人の宣教師によって、平戸で初めて紹介された。	4. 元寇の際に、元軍が使用していた「てつほう」を日本側が改良して国産化した。
------------------------------------	---------------------------------------	---	---

1. キリスト教の布教活動を支えるための寄付金として活用するため
2. 農村での貨幣経済を禁止し、年貢をすべて銀で納めさせるため
3. 鉄砲や火薬などの軍需品を調達する資金や、家臣への恩賞とするため
4. 朝廷から高い官位を得るための献上物として独占するため

1. 鉄砲の威力に対抗するため、高い石垣や厚い壁、複雑な堀を備えた城が築かれるようになった。

2. 鉄砲による火災を防ぐため、城の周囲に広大な水堀を作るのをやめ、空堀が主流となった。

3. 鉄砲の重さに耐えられるよう、城の主要な構造物がすべて巨大な岩石のみで作られるようになった。

4. 鉄砲の射程距離を避けるために、城はすべて人里離れた険しい山頂にのみ築かれるようになった。

1. 朝廷から与えられた守護としての特権を誇示し、伝統的な荘園領主の権利を保護するため。	2. 海外との貿易を独占し、キリスト教の布教を認めることで南蛮文化を取り入れるため。	3. 将軍の命令を全国に徹底させ、守護大名の権限を制限することで幕府の権威を取り戻すため。	4. 領内の武士や農民の行動を統制し、領国を一つのまとまった組織として安定させ、他勢力との戦いに備えるため。
--	--	---	--

1. 家臣たちの不満を解消するために、すべての裁判を幕府の裁定に委ねる必要があったから。

2. 海外から伝来したキリスト教の教えに基づき、平和な社会を築くことが求められたから。

3. 貨幣経済が浸透し、武士が戦うことよりも商業に従事することを推奨したから。

4. 家臣同士の私闘による戦力の消耗を防ぎ、大名を中心とした組織的な団結を固めるため。

1. 喜望峯 2. スエズ運河 3. マゼラン海峡 4. パナマ運河

1. 北アメリカ大陸にあると信じられていた黄金の国「ジバング」を探索するため。
2. イスラム商人やイタリア諸都市に仲介料を奪われず、高価な香辛料を直接入手するため。
3. 当時中国を支配していた元との貿易を拡大し、絹織物や陶磁器を大量に輸入するため。
4. 地動説を証明するために、西回りで航海して地球を一周することが目的であったため。